

# 令和4年度学校自己評価システムシート(県立川口高等学校)

# S02

目指す学校像 生徒の可能性を追求し、進路を実現する力と人間力を高める学校

- 重点目標
- 1 高い志と目標を持って、主体的に勉学に取り組む姿勢を育成し学力の向上を図る。
  - 2 部活動・学校行事を通して、協同しながら高い志を持って挑戦する強い心と自ら考えて行動する習慣を養う。
  - 3 地域、家庭、中学校と連携し、伝統を受け継ぎつつ躍進する開かれた学校づくりを目指す。

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

学校自己評価				年度評価(2月1日現在)			
年度	目標	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 続くコロナ過にあっても、多くの生徒が変化に対応しようと努力し、誠実に学習に取り組んでいる。しかし、学習の遅れや不安等の課題が継続している。解消のためには高い志の維持と実現のための学習時間の確保が求められている。 生徒の学習習慣を促進させるために、授業の改善と指導と評価の一体化を充実する学習指導力の向上が求められている。 生徒が川高で自己実現を目指した活動を安心してできるように、担任・学年・分掌・部活動顧問等が情報を共有して連携し、一人一人の生徒に応じた指導に取り組む必要がある。	生徒の学習習慣の定着と学力を向上させる授業の実践	①新学習指導要領に基づき、学力の3要素をバランスよく育成する授業を実践する。 ②HRプロジェクトやClassroom、BYOD等のICTの積極的活用を促進する。 ③オンライン授業を効果的に活用する。 ④教育の情報化を含め、積極的に教員同士が授業研究、研修参加等を行う。 ⑤観点別学習評価の導入と改善に取り組む。 ⑥情報を共有し、校務等の改善に務める。	①学習習慣(授業時間外の学習が全学年の平均2時間以上/1日)が8割以上 ②プロジェクトや授業動画、補習動画の活用状況 ③学級閉鎖時等でのオンライン授業の実施回数 ④年2回の授業公開週間における授業参観の参加人数 ⑤観点別学習評価等新学習指導要領に関する校内外の研修等の参加 ⑥グループウェア等を活用して情報共有の仕組みや資料の構築			
	【課題】 ・授業時間以外での学習時間の増加 ・教育の情報化の促進 ・学力の3要素を育成する授業の実施 ・進学に重点を置く学校として全教員の情報共有 ・各取組のふりかえり指導の徹底 ・大学入試改革に向けた継続的な取組	大学入試改革に対応した進路指導体制の整備と充実	①定期考査や模試の勉強計画を立て実行し、実施後のふりかえりを徹底し、継続した指導を行う。 ②生徒の自律を促しつつ、全学年で学期内や長期休業中の講習会や進学補講を実施する。 ③生徒との面談を積極的に実施し、きめ細やかな進路指導を行う。 ④新学習指導要領や新たな入試制度の変化に対応するため、情報収集を出来るだけ行い、校内で情報共有を行う。	①希望進路決定8割以上 ②講習会・補講へのべ100名以上の生徒が参加 ③④コロナ禍に配慮したICTの活用や面談の実施 ③④研修会への積極的な参加や校内検討会の実施			
	【現状】 校訓「高く正し」を核に据えた伝統を継続し実践する必要がある。コロナ過においても基本的な生活習慣の維持と規範意識を意識して、学習と部活動をバランスよく両立させた高校生活の充実が求められている。  【課題】 コロナ禍における挨拶、服装、整頓、清掃等の風紀について改善・工夫する必要がある。とくに女子生徒に対する整容指導に工夫やアイデアが求められる。さらにコロナ禍で生活習慣の確立ができず遅刻する生徒がいた。自転車の安全運転・安全点検・交通マナーの向上等の指導の充実が必要である。	組織的な生徒指導体制の下で、行事や部活動等の課外活動の一層の活性化と、生徒の人間力の醸成	①学校行事や部活動等を通してコミュニケーション能力やリーダーシップ、問題解決能力を育成する。 ②生活委員会の生徒を中心に、主体的に学校生活を改善していこうとする取り組みを積極的に支援する。 ③主体的に学習と部活動の両立を図ることができる指導体制を確立し、生徒手帳を積極的に活用して生徒一人一人が自ら計画的に時間管理するよう支援する。 ④通学時の交通安全意識や情報モラルを高める。	①部活動や学校行事の満足度が80%以上が6割以上 ②挨拶、服装、整頓、清掃等年間目標の実施状況 ③部活動加入率の推移 ③生徒の遅刻者数の推移 ④交通安全指導実施状況、交通事故0件日にちの増加など			
3	【現状】 「新しい生活様式」のもと在校生の活動状況や学校生活の様子を学校ホームページや川高インフォメーションを通して情報発信することで、保護者や地域、中学生に本校の魅力を伝えている。学校説明会等の広報活動の内容の充実を図り、保護者や地域との連携を深めていく必要がある。  【課題】 ・学年や部活動ページにおける更新回数さらなる増加 ・ホームページ記事掲載に関する研修会等の実施 ・学校説明会の参加者数の維持	情報発信の定着化を行い、川高ファンを増やすことで保護者や地域の連携・協力を推進	①各学年での行事や部活動の予定、実績などを定期的に情報発信する。川高インフォメーションや学校ホームページを活用する。 ②保護者との連絡や連携を密にし、PTA活動の活性化を図る。 ③コロナ禍でできる、地域の中学生や地域との交流の充実を図る。 ④「新しい生活様式」のもとで行える学校説明会や、校外の広報活動等を活用して中学生およびその保護者に学校の魅力を伝えるよう工夫を行う。	①記事投稿数とアクセス数の増加 ②PTAの活動回数 ③中学校や地域との連携回数 ④学校説明会等の参加者数増加			

学校関係者評価	
実施日	令和5年2月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	